

4月のてがたんは、残念ながら雨のため中止になってしまいました。4月2日(日)に実施した下見からてがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回5月のてがたんは5月13日(土)で、テーマは「鳥の子育て」です。

*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見は、5月7日(日)の9:30からです。

4月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→桃山公園→藤棚→手賀沼遊歩道
- 観察日時と天気：2016年4月2日(日) 10:00~12:00 くもり
- 市民スタッフ：5人 (小泉伸夫、蒲田知子、石原直子、伊東茂子、保田行弘)
- 鳥博職員： 1人 (小田谷嘉弥)

観察した生き物の記録

【鳥類】

カモ科：カルガモ、コガモ、コブハクチョウ(外来種) / カイツブリ科：カイツブリ / ハト科：キジバト / ウ科：カワウ / クイナ科：ヒクイナ(声のみ)、オオバン / シギ科：タシギ / カモメ科：ユリカモメ、ニシセグロカモメ / カワセミ科：カワセミ / キツツキ科：コゲラ / モズ科：モズ / カラス科：ハシブトガラス、ハシボソガラス / シジュウカラ科：シジュウカラ / ヒヨドリ科：ヒヨドリ / ウグイス科：ウグイス(声のみ) / メジロ科：メジロ / ムクドリ科：ムクドリ / ヒタキ科：ツグミ / スズメ科：スズメ / セキレイ科：ハクセキレイ / アトリ科：カワラヒワ / ホオジロ科：ホオジロ、アオジ

【両生類・魚】

二ホンアマガエル(声のみ)、アズマヒキガエル(卵、幼生)、ミナミメダカ

【昆虫】

カメムシ目：ヨコヅナサシガメ / カマキリ目：オオカマキリ(卵のう) / バッタ目：ヒシバッタ / コウチュウ目：ナナホシテントウ、コガタリハムシ / ハエ目：ヒラタアブの仲間、ユスリカの仲間、ガガンボの仲間 / ハチ目：クロヤマアリ / チョウ目：モンシロチョウ、モンキチョウ、ベニシジミ、ヒメエグリバ(幼虫)、シャクガの仲間(幼虫)

【その他節足動物】

ダンゴムシの仲間、ゴミグモ、ハエトリグモの仲間、ハシリグモの仲間

【草の花】

キク科：セイヨウタンポポ、ハルノノゲシ、オノノゲシ、ブタナ、ハルジオン、オオジシバリ、オニタビラコ、ハハコグサ / シソ科：ヒメオドリコソウ、ホトケノザ / アブラナ科：ナズナ、オランダガラシ、イヌガラシ、タネツケバナ、セイヨウカラシナ / オオバコ科：オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ / バラ科：ヘビイチゴ / ナデシコ科：オランダミミナグサ、ノミノツヅリ、ツメクサ、ナズナ / トクサ科：スギナ(ツクシ) / アヤメ科：ニワゼキショウ / スミレ科：スミレ、タチツボスミレ / ケシ科：ナガミヒナゲシ / ハエドクソウ科：トキワハゼ、ムラサキサギゴケ / マメ科：カラスエンドウ / カタバミ科：カタバミ、アカカタバミ / ムラサキ科：キュウリグサ / トウダイグサ科：トウダイグサ

【木の花・実】

バラ科：ユキヤナギ、サクラの仲間、モモ / サルトリイバラ科：サルトリイバラ / シデ科：イヌシデ / カバノキ科：ハンノキ / アオキ科：アオキ / ヤナギ科：ネコヤナギ / ツバキ科：ヤブツバキ / モクセイ科：レンギョウ / アケビ科：アケビ / モッコク科：ヒサカキ

観察した生き物の記録

今回のてがたんのテーマは「今だけ！春限定の自然観察」でした。残念ながら中止になってしまったので、2日（日）の下見の際に観察した生き物を紹介します。博物館前から桃山公園前を經由して藤棚まで歩き、さまざまな春の生き物を観察しました。



今月の案内人 小泉伸夫さん、蒲田知子さん



①鳥博前のコブシは花が見ごろでした



②ナスナの種子は放射状についていました



③紫の花を咲かせていたカラスノエンドウ



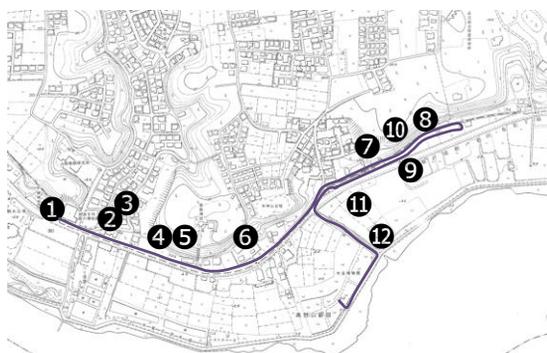
⑤ノゲシの葉についていたシャクガの仲間



⑥ヒサカキの生垣に網を張っていたゴミグモ



④春型のベニシジミ。越冬した蛹から春に羽化して発生するものは、夏に発生するものよりも鮮やかです。



歩いたルートと観察した生き物



⑧桃山公園の池で見られたアズマヒキガエルのオタマジャクシ。ヒキガエルは外敵の少ない3月ごろに産卵します。



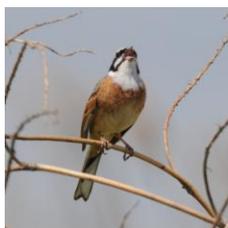
⑦南向きの斜面に咲いていたタチツボスミレ



⑨田んぼのあぜにはツクシが伸びていました



⑩鈴の様な形の花を咲かせていたイヌシデ



⑪あちこちでさえぎっていたホオジロ



⑫田んぼの脇に咲いていたムラサキサギゴケ

今月の鳥 鳥のさえぎり

鳥は、左右に2つある鳴管（めいかん）という器官を使って声を出します。左右の鳴管から同時に違う音を出したり、息を吸うときと吐く時、両方で声を出ることが出来るため、出せる声のバリエーションが大きいことが特徴のひとつです。

鳥の声には、大きく分けて2種類あります。鳥同士の連絡や警戒の意味のある“地鳴き”と、異性へのアピールやなわばり宣言の意味のある“さえぎり”です。地鳴きは一年中出すのに対し、さえぎりは主に繁殖期にしか出しません。より良いなわばりを確保し、より良い雌を獲得するため、多くの種の雄は、繁殖期の始めの春～初夏に最も盛んにさえぎります。



オオジシギは囀りながらディスプレイフライトを行う